

## 富里市外国人安全対策会議について

### ■富里市外国人安全対策会議 設立趣旨について

富里市で暮らす外国人市民は、令和6年9月末現在で、4,052人となり、市の人口に占める割合は、8.1%と、千葉県内の市町村で最も高くなっています。

本市では、外国人市民と日本人市民が、互いの文化等を理解し、尊重しながら、共に生活できるように「富里市多文化共生推進プラン」を策定し、取り組んでいるところですが、一方では、課題が生じている現状もあります。

例えば、在留資格や事業認可等のほか、ごみの出し方や交通ルールなど、これらには、法令遵守やマナーの習慣付など、関係機関と連携した取組が必要です。

このような中、外国人及び日本人が、トラブルに巻き込まれることなく、安全な暮らしとともに、地域社会の多文化共生の推進を目的に、関係機関との連携を深め、対策等を検討するため、「富里市外国人安全対策会議」を設立するものです。

### ■令和6年度 事業計画

- (1) 外国人及び日本人の安全や地域社会との共生に関して、情報の共有を図り、対策を検討する。
- (2) 必要に応じ、連絡会を開催し、各事案等に関する協議を行う。
- (3) 防犯、交通安全、法令、マナー等に関する広報、啓発を行う。